



校長室だより 足立区立第九中学校

第120号 令和元年11月13日発行 長塚琢磨



【文武両道！ 学問でも大成功へ！】

文化祭を自らの力で大成功させた生徒たちは、現在部活動でも力を発揮するとともに、11月19日（火）からの後期中間考査に向けて本気で頑張っています。私は、毎日教室を廻っていますが、生徒たちの輝く目と真剣に取り組んでいる姿を見てとてもうれしい気持ちになります。しかし、まだ本気になれない生徒が若干いると聞きとても心配です。



何事にも本気で、全力で取り組むことが最も素敵なことであり、その人を大きく成長させることです。毎日の努力が中間考査等の結果として表れることを期待しています。ご家庭でも、努力することの大切さをご指導くださいますようお願いいたします。

【素敵な仲間を高める動き！ 対策プリントの作成・配布！】

右の写真は、第1学年のコーナーです。第2・3学年の先輩たちにアドバイスしてもらい、学級委員と生徒会本部役員で仲間の学力を高めるために対策プリントを作成・配布しています。第九中学校の生徒指針である「磨く」「挑む」「思いやる」が、後期中間考査に向けた対応策として具体的な形で表れていると言えますね。



生徒が作成した対策プリント

足立区の基本構想には、30年後を見据えて区が目指す方向として「協創力をつくる 活力にあふれ 進化し続ける ひと・まち 足立」が示されていますが、生徒一人一人のよさを生かし、助け合い、ともに成長・進化していくことを実践していると考えます。このことをしっかり受け止め、全力で取り組み、自己ベストを出せることを期待しています。毎日の家庭学習など、ご家庭でもご協力をよろしくお願いいたします。

【11月に贈る詩②】

九中生には、自らを鍛え力強く未来を切り拓いてほしいので、この詩を贈ります。

我が子へ

相田 みつを

歩幅に多少の差はあるけれど

一回に出せる足は

だれでも一歩だ

一回に五歩も十歩も

出すわけにはゆかぬ

いま、ここ、の、一歩を

具体的に、しかも確実に出すことだ

この小さな一歩の連続が

富士山へもヒマラヤへも

つづくんだから

その反対

ぼんやり過ごす一日

いいわけとぐちで

過ごす一日

その連続で日がくれる

そういう人生もあるからな

一歩が大事

どんなに小さくても

いま、ここ、の、

具体的な一歩が大事

【いよいよ進路を決定する三者面談！ もうすぐ12月！】

12月2日（月）から、第3学年では進路決定のための三者面談が始まります。「〇〇高等学校に進学する」「〇〇会社に就職する」など、義務教育修了後の進路先を自らの意志で決定していく必要があります。進路とは「生き方」ですので、学力のレベルだけでなく、例えば、高等学校等への進学について、入学するときよりも卒業するときを考え、自分の力を十分発揮し、自分がさらに素敵になり、社会に貢献できる人に成長できるかを考えてほしいのです。



生徒たちには、希望している進路先を実際に訪れ、直接肌で感じてほしいと考えています。また、保護者の皆様には、真剣にお子様と話してほしいと考えています。学校でも様々な助言をしてまいります。未来を見据え、自立して生きるよう意志決定をお願いします。

【人事院月報に第九中！ 職業を考える！】

人事院月報（11月号）で、5月に本校第2学年が実施した「職業人に話を聴く会」の様子が紹介されました。講師をしていただいた国家公務員（人事院）の方が、キャリア教育の一環としての素晴らしい取組であるということから、第九中学校での出前授業の様子を掲載したものです。



職業体験「出前授業」の記事

様々な職について知ること、その職に就くためにはどのような力や資格が必要なのか、今何に頑張る必要があるのかなどを知って、目標をもって生活することは大変有意義なことです。人は必ず職業に就き、人のために働くことになります。ご家庭でも、生徒の未来の職業について話す機会をつくっていただければ幸いです。

【道徳授業地区公開講座！ みんなで心を耕す！】

本年度から特別の教科となった「道徳科」では、深く考えること、討論することを通して、自己の生き方を考え、主体的な判断のもとに行動し、自立した人間として他者と共によりよく生きるための基盤となる道徳性を養うことを目標としています。



増田智春指導主事の講演

第1学年は「人権」、第2学年は「向上心、個性」、第3学年は「友情、信頼」をテーマに、道徳授業を行いました。また、授業終了後に、区教育委員会の増田智春指導主事から「道徳科の授業の重要性」や「学校・家庭・地域社会の協働による心の教育の進め方」についてご講演いただきました。

道徳授業地区公開講座の感想をいただきました。

興味を持ったこと、気になったことについて、よく調べ、自分の知識として、それを基に考察をし、自分以外の人に伝える。大人になる上で、とても大切な力を身に付け、心を成長させているのでしょうか。（第1学年女子 保護者）



第1学年のグループ討議

令和の時代の中학생と大雑把に見ていましたが、個々の生活（家庭・学校）、体験から感じた問題提起に共感し、考えさせられました。豊かな心の発達・成長を感じました。よい時間を共有できて、よかったですと思いました。ありがとうございました。（第1学年男子 保護者）

全員の生徒が真剣に聴いていた。小学生から中学生になるとこのように成長するのだと驚きました。（開かれた学校づくり協議会委員）